



土岐市  
TEL  
FAX  
メールアドレス  
所 報  
発行責任者  
発行日  
題 字

教育研究所  
0572-54-1111 (内371)  
0572-55-6310  
kyoiku@city.toki.lg.jp  
No.548  
所長 長谷川 広和  
令和元年11月15日  
山田 恭正 教育長



## 土岐市あいさつデーの風景

撮影者 肥田中学校

水室 武志 校長先生



## 教職員の資質・指導力の向上

土岐市教育研究所長 長谷川 広和

幼稚園を訪問する度に感じるがあります。「伸びようとする成長の息吹」「今を精一杯頑張る輝きや鼓動」目を輝かせ、笑顔で取り組む子どもたちの姿にふれ、元気と活力をもらいます。そして、その姿に先生方のこれまでの指導の積み上げを感じ、教育という営みが子どもの成長に携わっていることの重みを実感させられます。

幼稚園の先生方は、余分な手を出しません。手をかけすぎない距離感を保たれます。ねらいを明確にし、環境を整え、約束を伝えて子どもに活動を委ねると、先生方は温かなまなざしで子どもを見守られます。先生方の立ち位置とかける声、タイミングには巧みさを感じます。

授業は「教材」と「子ども」と「教師」の三者によって成立すると初任の頃から指導されてきました。「教材」と「子ども」の関係に、「教師」がどのように関わるのか。土岐市が大切にしている学び手（子ども）の側に立つとは、その「教師」の在り方を、先生方に問うているのです。

今年は、ノーベル化学賞を吉野彰さんが受賞されました。吉野さんの化学への興味の原点は、小学

校の先生から勧められたファラデー著「ろうそくの科学」だったとのことです。幕末に活躍した吉田松陰は、松下村塾への入塾を希望する少年へ「教えるということにはできませんが、ともに勉強しましょう。」と互いの目標について、同じ目線で真剣に語り合ったと聞きます。「教育は知識だけを伝えても意味がない。教える者の生き方が、学ぶ者を感化して、はじめてその効果が得られる。」

教師のもつ熱は、子どもにも移ります。教師が味わった感動に、子どもは心を動かされます。教師がもつ深さに、子どもは引き込まれます。授業は生き方指導。課題にぶつかった時、どのように解決するか。粘り強く取り組むのか、方向転換するのか。答えを与え続ければ自分から探しにはいきません。状況を見極め、手をかけすぎず、タイムリーに支援することで、子どもは自ら歩み、大きく成長します。私たちは、教育のプロとして、地域の将来を担う子どもたちを育てているという気概をもって、目の前の子どもに深く関わっていくことが、教師という生き方、求められる一番の資質ではないかと思えます。

## 平成31年度グローバル化対応教員育成

### 「国外大学プログラム」実施報告

泉中学校 阿部 聖一

私は、7月21日から8月18日の4週間、「平成31年度グローバル化対応教員育成事業「国外大学プログラム」に参加しました。オーストラリア研修を通して学んだことは3つあります。

#### ①「PPP」P=Presentation

##### P=Practice P=Production

英語教育における指導法の1つです。本時教えたこと（言語材料）を教師のデモンストラーションや映像を通して生徒に提示します。魅力ある資料をシンプルにICT機器を用いて提示し、生徒のやる気に火を付けます。また、Target Language を使って様々なドリル練習をします。最後に、日常生活や使用頻度の高い場面の中でコミュニケーションを通して、言語を取得させます。

#### ②オーストラリア・ブリスベンの多様性

大学内はもちろん、街は多くの人種に溢れ、多種多様な言語・宗教をもった人たちがいました。彼らは、母国語を大切にしながら英語を使って意思疎通を図っていました。まさに、人と人をつなぐ言語として「英語」が存在したのです。学校訪問では、移民や難民の生徒たちがいました。彼らは身を隠すのではなく、英語を使って自分の意見を明確に伝えていました。彼らは、自信をもって自己表現していたので、私には堂々と見えました。彼らにとっては、日常生活の中に英語が根付いていたのです。英語が言葉であるだけでなく、彼らの体や生活の一部となり、力強く生きていました。研修を通して、オーストラリアの多様性を知り、様々な国の人を受け入れ、各国・各市と姉妹提携を結ぶ国としての偉大さと寛大さに魅了されました。

#### ③言葉に宿るエネルギー

オーストラリアで、私は「言葉に込められ

た願い」と「言葉のもつ可能性」を感じました。それは、クイーンズランド大学のモットーである「Create Change」です。研修中、講師の先生方は活動を通して私たちに「常に変化を求め、何に対しても前向きに可能性を信じることを教えてくださいました。また、「Leadership through innovation」と題した会合では、「Use it or Lose it」「Teaching is half learning」という衝撃的な言葉に出会いました。言語を学習する者として、教育者として目が覚めるような刺激を受けました。そして、この会合では、世界各国の英語教員と意見交換や各国の教育事情を交流することができ、貴重な体験となりました。



最後に、この研修を終えて大切だと思ったことは、『己の語学力を磨く必要性』です。各国の仲間と意思疎通を図るとき、大学の講義を受けているとき、ホームステイ先の家族と話をするときなど自分の意見が思った通りに伝わらず不便を感じることもありました。私自身の「聞く・話す・読む・書く」の4技能の能力が足りていないことを痛感したのです。私たち教員は、「教育者でありながら、学習者でもある」のです。私はこれから自分をアップデートしていきます。そのために、どんなことにでも興味をもって色々なことを経験したり、挑戦したりして行くことを大切にしたいです。そして、私は専門性の高い教員であるために努力し続け、身近にいる人に優しく接したり、後輩の指導をしたりして、今以上に日常生活を丁寧に過ごしていきます。

# 小学校外国語活動 研究の経過報告

## 1 はじめに

土岐市教育委員会の指定を受け、今年度は外国語教育の研究を始めて3年目となる。新学習指導要領の全面実施を来年度に控え、授業をALTに任せるのではなく、担任一人一人の授業力を高めることを通して、研究主題「主体的にコミュニケーションを図ることができる児童の育成」を具現化することを目指している。

## 2 研究内容

### (1) 全校で取り組む研究体制の整備

全校体制で研究を推進することをまず大切にしている。低学年や担任外の教員なども含め、全職員で研究を進めるために、大きく以下の二つの取組を行った。

#### ①教師の英語力向上のための取組

文部科学省の外国語研修ガイドブックをもとに、授業で使える英語表現をまとめ、授業実践で活用している。(右図) また、毎週の打ち合わせの際にも「3分間イングリッシュレッスン」を実施し、英語力の向上に努めている。

使ってみよう! Classroom English	
1 朝の挨拶	Good morning.
2 おおさん、こんにちは。	Hello, everyone.
3 元気ですか。	How are you?
4 今日何曜日ですか。	What day is it today?
5 今日何月何日ですか。	What's the date today?
6 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
7 今日何曜日ですか。	What's the date today?
8 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
9 今日何曜日ですか。	What's the date today?
10 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
11 今日何曜日ですか。	What's the date today?
12 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
13 今日何曜日ですか。	What's the date today?
14 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
15 今日何曜日ですか。	What's the date today?
16 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
17 今日何曜日ですか。	What's the date today?
18 今日何曜日ですか。	How's the weather today?
19 今日何曜日ですか。	What's the date today?
20 今日何曜日ですか。	How's the weather today?



英語研修の様子



模擬授業の様子

#### ②指導力向上のための取組

授業実践がある3～6年生ごとに「学年部会」を組織し、それぞれの学年部会に全職員を配置している。授業検討や研究会を学年部会ごとに行うことで、全職員で授業改善を進めることができる。また、全研オリエンテーションを模擬授業の形式で行うことで、より具体的な授業のイメージをもつことができている。

### (2) 指導計画の理解と工夫

各単元の終末には、「目的・場面・状況」を明らかにした

- ①気付き
- ②慣れ親しみ
- ③主体的なコミュニケーション

言語活動を設定した。終末に向かう各単位時間の役割を上記の3つととらえ、言語活動に必然性をもたせるようにしている。

### (3) 指導過程の工夫

#### ①見通しをもって主体的に取り組める学習活動

外国語の授業の流れを整え、黒板に掲示している。児童が授業の流れを理解できることに加え、教員にとっても、見通しをもって授業を進める助けとなっている。



#### ②活動後半への足掛かりとなる中間交流



ア 本時の課題 (Today's goal) の達成状況の見届け  
イ 活動前半で見届けた児童の良さの共有  
ウ 活動の中での困り感の共有

中間交流の役割を主に上記の3つと捉えている。

意図的な指導を行うことで、良さを共有し、児童の困り感を解決し、活動後半への足掛かりをつくる



中間交流での困り感の共有

#### ③評価カードを活用した評価活動

ア 単元を通した児童の変容を捉える  
イ 指導要領の目標に照らした評価ができる

この2点に留意し、単元で1枚の評価用カードを作成し、縦軸には目標ごとに評価を書けるようにした。各時間、記入する欄を指定することで、ねらいと評価を整合させることができた。

英語でコミュニケーション!

単元名 What do you have on Monday? ( )

今日の目標 Today's goal

振り返りカード

### 3 今後の方向

- ・「読むこと・書くこと」の活動に適切に対応していく。
- ・高学年では新たに採択される教科書に対応した指導を実施していく。
- ・教科化に対応した評価の在り方についても研究を重ねていく。

# 市指定発表（授業改善）の取組の様子について

土岐市立泉中学校

## 1 研究主題に関わって

新学習指導要領の告示に伴って授業改善の視点が明確になり、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す方向性が位置付けられた。そこで、今年度前年度の研究で得られた課題点「個や集団の思考を深め終末の姿に向かうために、各教科で働かせたい見方・考え方を明確にする必要がある」という視点も踏まえ、本校が育成を目指す資質・能力を身につけた生徒像を、新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の3つの柱に基づいて、新たに以下のように整理し直した。

- ・自ら課題を見だし仲間と共に全員で取り組むことを通して、課題の解決や知識及び技能の習得ができる「**主体的**」な授業を創り上げる生徒
- ・思考力、判断力、表現力等を高める「**深い思考**」（教科の見方・考え方を働かせて思考すること）のある授業を創り上げる生徒

また、これまでの学力調査等の結果を分析すると、発展的な問題に対する正答率が低く、記述式の問題に対する無回答率が高いことなどから、本校においては「深い学び」の実現のためには、知識を活用するための思考力、判断力、表現力等を高める「深い思考」を実現することが必要だと判断し、研究主題を設定した。

### 主体的で深い思考のできる生徒の育成

～終末からの授業改善を通して～

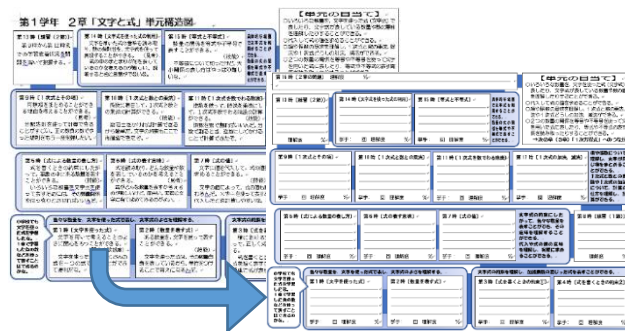
## 2 研究内容および実践

### 【研究内容1】「主体的」な学びを実現する指導

- ①単元構想図の作成
- ②主体的な学びを実現する導入の工夫

### 全教科での実践

生徒に学習の見通しをもたせるために、単元全体や単位の終末の姿を明らかにした単元構想図を作成した。この構想図をもとに、生徒が学びの振り返りを書き込む単元学習カードを作成した。



## 数学科での実践（6月の全校研究会での授業実践）

生徒自身が自分で理解できる場所は授業前に習得し、わからない部分を明確にして授業に臨む「班予習」を取り入れた授業実践を行った。「班予習」により、生徒間で関わりあう必然性が生まれ、苦手な生徒も得意な生徒も、今後の見通しをもって本時の課題に向かうことができ、生徒の主体的な姿を引き出すことができた。

### 【研究内容2】「深い思考」のある授業を実現する指導

- ①深い思考の明確化
- ②深い思考を実現する働きかけの工夫

### 全教科での実践

終末の姿に向かうために、単位時間ごとの深い思考（本時働かせたい教科の見方・考え方）を明確にして授業改善を行った。また、具体的な言葉や場面において、深い思考を実現するための「深めの発問」や「教師の働きかけ」を考えることで、普段の授業の中でも研究内容を意識し実践できるようにした。

## 3 これまでの成果と課題

- 単元学習カードや班予習、ICTの活用により、導入の工夫をすることで、生徒自身が終末の姿をイメージして、見通しをもちながら主体的に取り組む姿が増えた。
- 教師が発言内容を精選し、意識的に思考を促す問いをすることで、継続的に教科の見方・考え方を働かせて学習に向かうことができる。
- 『本時の深い思考』という視点から、「生徒の発言内容を価値付ける評価活動」を積極的に行うことで『学びの実感』をさせたい。

# 令和元年度 第2回学力向上推進委員会 活動報告

駄知小学校 橋本 梨々子

令和元年度土岐市学力向上推進委員会重点  
子どもたちが、自分で考え、  
自分から取り組む授業

- 1 教える授業から、  
子どもたちが考える授業へ
- 2 子どもたちが自ら学ぶ授業
- 3 子どもたちで、学び合う授業

主体性を育む

昨年度までの「終末からの授業改善」という合い言葉を受け、今年度の学力向上推進委員会では、次の3つを切り口にして、各校の学力向上推進委員会を中心に授業改善の取り組みを進めている。

## 〈指導改善の3つの切り口〉

- 1 子どもたちが「やってみたい」「考えてみたい」という学習意欲を喚起する学習課題
- 2 学習内容や目的に応じた話し合い活動の位置づけ
- 3 学びを実感する終末の活動

今年度の授業改善の切り口は、導入・展開・終末の各学習過程に沿っており、それぞれの過程において、子どもの意識を具体的にイメージして、教師として指導・支援すべきことを明確にした授業を目指す。第2回学力向上推進委員会では、全国学力・学習状況調査の結果から、今後の指導改善の方向を再確認した。また、各学校の7月までの実践を交流し、土岐市スタンダード作成に向け、各学校の今後の取組の具体について話し合った。

## 1 土岐市における全国学力・学習状況調査の結果をうけて

### (1) 【児童・生徒質問紙】調査より

・国語と算数の授業は楽しくないわけではないが、好きではないと感じている児童の割合が多い。

- ・自分の考えを、根拠をもとに分かりやすく(筋道をたてて)伝えることに苦手意識をもっている児童が多い。
  - ・全般的に家庭などの生活にかかわる質問に全国平均との大きな差はみられないが、授業への意欲や学習内容に関する質問には全国平均を下回るものがある。
  - ・国語の授業において、相手に理解してもらうための表現力をつけたり、学習したことを社会生活で生かしたりしようとする意識が低い。
- 好きではない、表現が苦手、社会生活へ生かそうとする意識の低さへのてこ入れが必要である。

### (2) 授業改善の方向

## 授業改善は何のため・・・？

### 新指導要領で述べている「学びの進化」

生きる力  
学びの、その先へ

学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子供の学びが進化します。

#### どのように学ぶの？

(主体的・対話的で深い学び)

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から

「何を学ぶか」

だけでなく

「どのように学ぶか」

も重視して授業を改善します

#### 何ができるようになるの？

(資質・能力の三つの柱)



「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視し、「3つの切り口」から授業を改善していく。そのためには、児童の・生徒の意識に沿った学びの過程が重要である。

### 1 子どもたちが「やってみたい」「考えてみたい」という学習意欲を喚起する学習課題




子どもたちが  
つかむ

・今日は～についての  
学習をするぞ！  
・今日やることは、  
これなんだ！

出口の児童・生徒の  
姿を明確に！！

★終末に向け、  
活動が明確な課題  
(何を・どこまで・どのように)

2 学習内容や目的に応じた  
話し合い活動の位置づけ



～について話し合いたい！  
～できるようになりたい  
～わからないを解決したい！


気付き  
深まり  
広がり

★話し合い活動の必然

★話し合いの視点を明確に

分からないが言える・自分の思いが出せる  
学習集団作り

3 学びを実感する終末の活動



～できた！  
～今日分かったことはこれ！  
～こうすればいいんだ。

まとめ  
気付き  
自覚

★1時間で必ず評価まで行う

★子ども(個)がまとめ、表現する

★「できた・わかった」の「どうして」を問う

## 2 3つの切り口にかかわる実践交流

### 例 駄知小学校実践

○話し合い活動の工夫 (算数…4年生)



どの「場面」で、何を「ねらって」、どのような「手立て」をもって指導するのかを具体的かつ明確にした。

【場面】…10を13こ集めると130になることを仲間に説明する場面で

【ねらい】…自分の考えを仲間に説明することで、自分の考えを整理して理解を深めることをねらって

【手立て】…3人一組の算数グループを作る、話し方指導(ノートの向き、指差し、反応確認)を行うという工夫をした。

→話し合いの視点を明確にし、交流の際の机の配置や話し方・聞き方の指導を工夫したことで、自分の考えを主体的に表現しようとする姿が多く見られた。

○今後の流れ～全校で統一していくこと～

### 話し合い活動

- ・3人一組の算数グループを作る。
- ・学年に合わせた話し方指導を行う。
- ・話し合いの目的、出口を明らかにしてから話し合う。
- ・式、具体物・図・数直線、言葉をつないで説明させる。

### 振り返り活動

- ・1時間で必ず評価まで行う。
- ・学年に合わせた到達度評価を児童が行う。

## 3 土岐市の今後の動き

- ①学校として取り組むこと(焦点化したもの)を全職員で再確認し、どのような形に残していくのかを明確にして実践を積み重ねる。
- ②年度末に作成する土岐市スタンダードの素案作りのために、①で残した実践を下にある「実践記録報告シート」として作成する。

( ) 小・中の授業改善	
1. 今年度の重点切り口	
2. 実践 ( 年 組 教諭)	
(写真)	① ( ) という場面 ② ( ) をねらって ③ ( ) という工夫をした * (どうなった)
(写真)	④ ( ) という場面 ⑤ ( ) をねらって ⑥ ( ) という工夫をした * (どうなった)

▲実践記録報告シート

## 「私の教育実践」

# 子どものできる力を信じて

泉西小学校附属幼稚園 教諭 日比野 裕子

近年子ども達の運動機能の低下や姿勢保持ができない子が増加していると言われていますが、本園でも課題の一つにあげられます。そのため、体幹を育てることを目的としたストレッチ体操を、集会に取り入れて全園児で行っています。

また、5歳児ではストレッチ体操だけでなく生活面や運動面など、いろいろな活動に意識できるように、目標を立てクリアしていく活動（チャレンジ遊び）を継続的に行っています。

4月は、子ども達の得意なところ苦手なところを把握します。子ども達の好きな戦隊ヒーロー（挑戦する“がんばるんじゃー”）に変身し目標をクリアすると、ヒーローもレベルアップすることを伝え、活動をスタートさせました。

運動遊びが苦手だったA子さんは鉄棒に触るこ

ともも抵抗感がありました。苦手意識が強いため鉄棒にぶら下がるところから経験し、簡単な目標から少しずつ難しい目標へとチャレンジできるようにしていきました。できた時には大いに認め、頑張ったことをクラス全体で喜び合います。

その姿を見た子ども達も互いに教え合い刺激を受けて、目標をクリアしていきます。教師はコツを伝えたり、友達の動きを見せたりして、励まし認めます。できるようになった子ども達は自信に満ち溢れ、次の目標を自分達で設定し、挑戦していきます。A子さんも自信をつけ、積極的に挑戦するようになれました。

“やればできる”を身につけた子ども達の力を信じて、今後も見守り励まして援助していこうと思います。

## 「私の教育実践」

# 『存在価値のある養護教諭』を目指して

濃南小学校 養護教諭 加藤 三保子

『児童、保護者とじっくり向き合い、その心と体の健康を守りたい。』それが、私が教員を退職後、今度は養護教諭となって教育現場に戻ろうと思ったきっかけである。しかし、冒頭の思いは、健康診断でさえ初任者指導の先生の力を借りなければ遂行できないほど自分は新人であることに気付いた時、簡単に打ち砕かれた。だが、初任を終える頃、初任者指導の先生から『養護教諭が教諭である所以を考え存在価値のある養護教諭になりなさい』という言葉をいただいた。それは、自分の目指す養護教諭への指針になると思った。そこで私は『存在価値のある養護教諭』を以下のように考えた。

① 養護教諭の執務を正しく遂行することができる

② 児童生徒の生きる力を育むことができる

この『存在価値のある養護教諭』を目指して、まず力を入れたのは保健指導である。前任校は保健

指導の時間が位置づいていなかったため、カリキュラムマネジメントの手法を用いて、身体測定前に保健指導のための15分間を捻出することから始めた。また、限られた時間内で伝えなければならないことをわかり易く伝えるために、教材・教具の開発にも力を入れるようになった。

今年度着任した濃南小では9月に自作の教具を使って『熱中症をふせごう』という保健指導を行い、保健指導後、教具を階段に掲示した。休み時間には、教具に記入された暑さ指数を見て『今日は昨日より危険なんだね』という声が聞こえる。熱中症の手当を人形を使って練習する姿が見られる。そうした児童の声や姿から、生きる力を一つ身に付けられたと感じ、嬉しく思った。

『存在価値のある養護教諭』それを目指して今後も努力していく。それが、児童、保護者、先生方からの信頼や、その心と体を守ることに繋がると信じている。

## 「先生の言葉は、子どもの心に響かない」

泉西小学校 教頭 清水 泰浩

この言葉は、私が十字架として、30年近く背負ってきて、今後も背負っていくものです。

私は、教師としてのスタートが東濃(多治見市)の小学校でした。そして、教頭のスタートも東濃となり、東濃弁を懐かしく、そしてあたたかく感じました。約30年前、私が初任者としてお世話になった指導教官〇先生は、長年に渡り、国語教育の研究に身を投じられた方でした。私は、公私に渡って支えていただきました。〇先生からは、実に多くのことを学びました。当時の国語教材(小4)「とびこめ」では、〇先生が、「昨日、この場面を8回音読したわ。そして、今までうまく教えられなかった理由が分かったの。子どもがイメージできるように、動きを絵や図に表さないといけないの。」と、話されました。しかしながら未熟な

私は、教育の奥深さを感じつつも、理解や指導が十分にできませんでした。

そんな中、運動会前でした。私の指導を見た〇先生は、「先生の言葉は、子どもの心に響かない。」と、訓戒されました。これは、若さに任せた指導、独りよがりの指導だったためです。その後、この言葉は私の心から離れなくなりました。

いくつかの小中学校の勤務を経て、「子どもの心に響く」とは、子どもの思いと教師の願いをいかに関わらせるかであり、すべての教育活動で大切にしていけるものと学びました。また、単なるスキルではなく、伝え手としての心の在り方が問われます。恩師の年齢に近づきつつある今、届かなくなった年賀状を前に、私は若かりし頃に思いを馳せ、自分を見つめずにはられません。

### 掲 示 板

～おめでとうございます～

#### ◇第19回社会科課題追究学習作品展

《最優秀賞》内海 沙彩(土岐津小5年)

#### ◇第63回岐阜県児童生徒科学作品展

《最優秀賞》岩本 実花(土岐津中3年)

《優秀賞》宮地 利奈(土岐津中4年)

《入選》小山 りさき(土岐津小3年)

林 奏汰(泉小4年)



安藤 妃奈子(土岐津小5年)

小嶋 祐羽・美羽(土岐津小5年)

岩本 汰朗(土岐津小6年)

山野 遼太郎(土岐津中1年)

後藤 彩羽(駄知中2年)

#### ◇2019年岐阜県発明くふう展

作品の部《発明協会会長奨励賞》柳生 泰杜(妻木小6年)

《中部日本弁理士倶楽部幹事長賞》高橋 佳己(泉小5年)

《努力賞》内海 惺(土岐津小2年)

加納 慎太郎(下石小6年)

水野 美優(泉西小6年)

絵画の部《岐阜県知事賞》春日井 しおん(泉中3年)

《岐阜県市長会長賞》宮地 利奈(土岐津小4年)